

## 千葉市新基本計画審議会 公共事業再評価部会 議事要旨

- 1 日 時 平成30年3月20日（火）17時00分～18時00分
- 2 場 所 きぼーる11階 保健福祉センター 大会議室
- 3 参加者 ≪委員≫6名  
上野武委員、河野功委員、鈴木敦子委員、鈴木潔委員（欠席）  
榛澤芳雄委員、福田敦委員（五十音順）  
≪事業所管局≫8名  
村川道路部長、中村道路計画課長、佐瀬街路建設課長 他  
≪事務局≫2名  
岩田政策調整課長 他
- 4 議 題
  - (1) 市道幕張 215 号線（花立踏切）踏切除却事業に係る再評価の内容と対応方針（案）について
  - (2) その他
- 5 議事の概要
  - (1) 市道幕張 215 号線（花立踏切）踏切除却事業に係る再評価の内容と対応方針（案）について
    - ・ 市道幕張 215 号線（花立踏切）踏切除却事業について、千葉市対応方針（案）の説明及びこれに対する審議を行った。
  - (2) その他  
特になし。

## 6 会議経過

～以下、会議録～

### 千葉市新基本計画審議会

議題（１）市道幕張 215 号線（花立踏切）踏切除却事業に係る再評価の内容と対応方針（案）について

（事務局）「平成 29 年度公共事業再評価実施事業調書 他」に基づき、事業内容等を説明。

#### 【意見交換】

榛澤 部 会 長           ただ今の事務局の説明に対して質問・ご意見がございましたらお願いします。

鈴木 敦子 委員           幕張 215 号線の事業費が増大し、財政的な裏付けが十分ではないため現時点では工事再開が困難であり、また、費用対効果が十分に見込めないならば、今回の事業再評価について「中断」に賛同します。また、将来を担う子供達の安全・健康のための財源を優先してもらいたいです。

                          ただし、中断により踏切道が残ると安全に対して課題が残るため、代替措置について検討しているのでしょうか。

建 設 局               踏切の代替措置として地元より隣接歩道橋にエレベータを取付けるご意見もあるので、今後検討してまいります。

福 田 委 員           今回事業を中断した場合、未供用区間の事業予定地の利用方法について決まっていますか。次に、幕張 215 号線を再開する場合に海側を国道や県道まで延伸することで事業費用が増加しますが、費用便益分析の結果は B/C が増加します。その場合、幕張 215 号線の通過交通量はどうなりますか。また、計画の見直しについて考えているのでしょうか。

建 設 局               未供用区間の事業予定地につきましては、中断した場合は道路として整備し、緊急車両が入ることもできるようにしたいと考えています。幕張 215 号線の延伸については国道や県道まで伸ばすことで通過交通量は増加いたします。なお、地元より延伸要望もありますが地権者等がおりますので、効果を上げる手法として今後検討することになります。

上 野 委 員           幕張 215 号線の全体事業費について当初の 9.9 億円から 21.8 億円まで増加していますが、コストが増加した理由について経緯を詳しく教えてもらいたいです。

建 設 局               全体事業費については鉄道事業者の安全基準が見直されたことと、アンダーパス工事が機械掘削から人力掘削へ変更されたことにより、大幅にコストと工期が増大いたしました。また、人件費と資材の高騰などでもコストが増大しております。

上 野 委 員           全体事業費の内訳をもう少し分かりやすくしたほうがよいと思います。

建 設 局               了解しました。

河 野 委 員           当該地区は、住宅建設が進み密集地化してきている。今回、幕張 215 号線事業の中断に伴い都市計画道路幕張本郷松波線を先行して整備するとする方針変更は、地元にとって当該地区の生活道路への交通集中の問題を解決すること

や幕張 215 号線の道路空間が確保できたこと等、広い意味で地元にとっても有益なものと思われます。しかし、都市計画道路幕張本郷松波線が完了するまでには、相当の時間がかかるものと思いますが、今後の整備スケジュールをどう考えているのか。完了するまでの当該地区の生活基幹道路の対応をどの様に考えているのか。また、土地区画整理事業から切り離して都市計画道路幕張本郷松波線を整備することになるのでしょうか。

最後に、事業費について国費返還の可能性について本当に問題はないのでしょうか。

建設局

生活基幹道路としての市道幕張 189 号線の道路拡幅は難しいことから、都市計画道路幕張本郷松波線の整備を進めます。計画スケジュールは平成 34 年度から 15 年間で想定しているため、事業期間は平成 48 年度まで設定しております。また、土地区画整理事業から切り離して街路事業で整備することになります。

当該事業の国費返還の可能性については、再評価の結果、当該国庫補助事業等を中断する場合、補助金適正化法第 10 条第 1 項においては補助金等の交付決定後の「事情の変化」により特別の必要が生じたときは補助金等の返還は求められないと考えております。

榛澤部会長

鈴木潔委員が本日欠席されておりますが意見を事前に伺っておりますので、建設局より説明願います。

建設局

鈴木潔委員より事前に伺っております意見と回答をこの場で発表させていただきます。

(意見 1) 幕張 215 号線の立体交差事業を中止ではなく、中断とする理由は？

(回答 1) 下記の理由から中止ではなく中断としています。

- ①立体交差化すべき踏切道として法指定されている。
- ②住宅が密集し、生活道路が狭隘である当該地区においては、緊急時・災害時における南北の軸となる重要な道路である。
- ③工事費の大幅な増額は、施工時間及び施工方法の制限であることから、技術革新により、安全に機械で鉄道が運行している時間に施工できる工法が可能となった場合、大幅にコストが下がる可能性が高い。
- ④現段階では費用対効果が低いものの、海側への延伸により事業効果の向上を図ることが可能である。
- ⑤地元から中止を強く反対されている。

(意見 2) 地元調整はなされているか。説明責任を果たすことが重要である。

(回答 2) 平成 30 年 2 月に地区連会長及び自治会長に幕張 215 号線の事業継続が困難であり、幕張本郷松波線の事業着手について説明したところ、概ねの了解を得ている。

(意見 3) 中断に伴う経済性と代替性についてはどうか。

(回答 3) 経済性と代替性は下記のとおり。

① 経済性については、幕張 215 号線を中断し、費用対効果が高い幕張本郷松波線に投資することにより、経済性は高いと考えられる。

② 代替性については、幕張本郷松波線が整備され、美浜長作町線に接続されれば、一定の南北分断が改善されるため、幕張 215 号線の一定の代替性はあると判断している。

(意見 4) 安全性は別次元で考えるべき。

(回答 4) 踏切で毎年事故が発生していることから、立体交差事業に先行した踏切除却等の安全対策を関係機関と十分に調整し進めて行きたい。

榛澤 部会長

質疑応答は以上のようなので、部会の意見を取りまとめたいと思います。

市の対応方針(案)は「中断」ですが、事業中断ということではよろしいでしょうか。

一 同

異議なし

榛澤 部会長

それでは、当部会として、対応方針(案)の「中断」に対し承することといたします。

次に、これまでの皆さんの意見を踏まえ審議結果の答申案について皆様にお諮りしたいと思います。事前に私の方で案文を作成しましたので、事務局より説明願います。

事務局

答申案を読み上げ

榛澤 部会長

答申案につきまして、意見等ございますでしょうか。

上野 委員

全体の論旨が分かりにくいので、文書構成を整理したほうがよいと思います。

福田 委員

幕張本郷松波線に関することは最後に説明したほうがよいと思います。

榛澤 部会長

それでは他に意見があれば事務局に言ってください。再度皆さんの意見を確認したうえで、答申案を確定させたいと思います。また、この答申案について最終的な取りまとめは部会長一任で行い、千葉市新基本計画審議会 公共事業再評価部会の審議結果とすることで、よろしいでしょうか。

一 同

異議なし。

議題(2) その他

(事務局) 議事録の確定方法等について説明。

— 閉会 —